

安全情報

平成 30 年 4 月 13 日

(公財) 日本骨髄バンク
非血縁者間末梢血幹細胞採取認定施設
採 取 責 任 医 師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

機器トラブル及び検査技師急病のため、採取時間等が変更となった事例について

このたび、非血縁者間末梢血幹細胞採取術において、機器トラブル及び検査技師急病のため、採取時間等が変更となった事例が報告されました。

採取施設からの報告によれば以下のような概要です。

<経過>

別紙ご確認ください。

<対応>

本委員会としては、採取に関連する不測の事態が発生した場合であっても迅速に CD34 測定等の対応ができるよう、近隣施設との連携等を想定した体制の整備のご検討をお願いしたくご依頼申し上げます。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

公益財団法人 日本骨髄バンク

ドナー安全委員会

担当 折原

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-19

廣瀬第2ビル 7階

TEL : 03-5280-2200

FAX : 03-5283-5629

機器トラブル及び検査技師急病のため、採取時間等が変更となった事例について

【経過報告】

	機器トラブル	検査技師急病
採 取 前 日		
23 時 20 分	<p>(臨床検査技師→採取責任医師)</p> <p>採取前日 PM11 時 30 分頃、当院の臨床工学技士より、「前日にストロボ修理をメーカーが行ったが、その際に機器基盤の故障が発生した。基盤の取替となるため 1 日目午前中に作業が必要となり、最短でも 1 日目 PM2 時ころまで採取が出来ないとメーカーより連絡があった」との電話連絡を受けた。</p>	
採 取 日(1 日目)		
1 時 20 分	<p>(採取責任医師→JMDP)</p> <p><u>採取担当医師より HOT LINE に連絡。</u></p> <p>「機器トラブルのため、近隣施設に採取機器の貸し出しを依頼する。この場合、AM11 時頃から開始できるのではないかとこの予測をメーカーおよび臨床工学技士から受けた。その場合、採取終了が PM3 時過ぎとなり、院内で CD34 の測定が当日中に可能である。また、その場合は 2 日目の採取が必要な場合でも通常通り行うことが可能。貸出可能か不確かではあるものの、本選択肢が望ましいと判断した。骨髓バンクによる末梢血幹細胞採取マニュアル上、G-CSF 投与後採取まで 3 時間以上空けることが望ましいとされていることから、1 日目の G-CSF 投与は AM8 時に行うこととした。」</p>	

9 時 00 分頃	(採取責任医師→近隣施設) 機器手配開始、近隣施設より機器の貸出につき許可を得て、直ちに当該施設へ搬送。	(臨床検査技師→採取責任医師) 当該技師より急病のため出勤できないとの連絡を受けた。本人と直接連絡を取ることができず、急病の原因について不明であった。
		(採取責任医師→JMDP) <u>検査技師急病のため、院内検査不可との連絡を受け、</u> 時期的にも感染症の可能性などを考慮し翌日出勤できる確約が取れないと判断した。結果として、外注検査に依頼し測定することとした。 この場合、測定は確実にできるが、結果が判明するのが翌日昼頃になると連絡を受けた。 従って、翌日にも採取を行う場合は、G-CSF を投与してから採取までの十分な間隔が取れないこと、最終終了予定時刻が午後 4 時以降となり、提供先施設の都合がつかない可能性があることが考慮された。
11 時頃	末梢血幹細胞採取 開始	
夕方	末梢血幹細胞採取 終了	
採 取 日 翌 日		
9 時頃	移植施設担当者が、1 日目に採取した幹細胞を受け取り、移植施設に運搬開始	
12 時頃		検査機関より、採取施設に CD34 陽性細胞数の報告あり。 細胞数は、2.0×10E6/患者体重 以上確保との報告を受け、2 日目採取は不要と判断
午後	ドナー退院	